



各 位

平成 30 年 9 月 18 日

会社名 パレモ・ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉田 馨
 (JASDAQ・コード番号: 2778)
 問合せ先 専務取締役管理担当 永井 隆司
 TEL (0587) 24-9771

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、本年 3 月 30 日に公表しました平成 31 年 2 月期第 2 四半期(累計) (平成 30 年 2 月 21 日～平成 30 年 8 月 20 日) 及び通期 (平成 30 年 2 月 21 日～平成 31 年 2 月 20 日) の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 2 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 2 月 21 日～平成 30 年 8 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,060	700	710	600	49 82
今回修正予想 (B)	11,808	576	589	527	43 77
増減額 (B-A)	△252	△124	△121	△73	—
増減率 (%)	△2.1	△17.7	△17.0	△12.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 2 月期 第 2 四半期)	—	—	—	—	—

平成 30 年 2 月期第 3 四半期より連結財務諸表を作成している為、前期第 2 四半期数値は記載しておりません。

(2) 平成 31 年 2 月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 2 月 21 日～平成 31 年 2 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,600	770	785	650	53 97
今回修正予想 (B)	23,450	650	665	520	43 18
増減額 (B-A)	△150	△120	△120	△130	—
増減率 (%)	△0.6	△15.6	△15.2	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	23,262	741	768	949	78 82

2. 修正の理由

(1) 平成 31 年 2 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想 (平成 30 年 2 月 21 日～平成 30 年 8 月 20 日)

売上高は、雑貨事業の 300 円均一業態やライフスタイル提案型の業態は堅調であったものの、アパレル事業において、春先の天候不順に加え夏場に酷暑が続いた影響から、プロパー商品やシーズン商品の販売が計画通りに進まず、商品鮮度の低下を招いたほか、西日本豪雨も重なるなど苦戦傾向となりました。

その結果、第 2 四半期累計期間の全社における既存店売上高前年比は 97.5%にとどまり、その前提条件 101.2%に対し大きく下回ったことから、売上高は前回予想から 252 百万円下回る見込みであります。

利益面におきましては、上記売上高の減少に伴う売上総利益の減少や売価修正の増加による売上総利益率の低下により、営業利益・経常利益は、それぞれ前回予想から 124 百万円、121 百万円下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益におきましても上記要因により、前回予想から 73 百万円下回る見込みであります。

(2) 平成 31 年 2 月期通期の連結業績予想 (平成 30 年 2 月 21 日～平成 31 年 2 月 20 日)

年間通期の売上高は、当初下期に予定していた利益を確保すべく修正し、23,450 百万円となる見通しであります。

利益面におきましては、第 2 四半期累計期間の利益見通しを考慮し、営業利益・経常利益は、それぞれ前回予想を 120 百万円下回る見込みであります。

また親会社株主に帰属する当期純利益におきましても、前回予想数値から 130 百万円下回る見込みであります。

配当予想につきましては、前回予想からの変更はなく平成 31 年 2 月期第 2 四半期末配当として 3.00 円、期末配当金として 3.00 円の年間 6.00 円を予定させていただきます。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上